



花乱れ咲く柏陽

恵庭市立柏陽中学校 校長室から

令和6年12月24日（火）14号

校長 前田 真志

<人から学ぶ、本から学ぶ>

第3節終了集会が行われました。生徒会が主体で進行しました。風邪やインフルエンザが広がりつつある冬休み前でしたが、全校生徒が体育館に集まり、集会を行いました。後期に入ってから各種大会で活躍した部などの表彰や、自殺予防教育の一環として行う「SOSの出し方教育」として、本校生徒指導主事から話をしてもらいました。この予防については、今年度恵庭市教育委員会の指導を受けて、長期休業前に「心の健康調査」を行っています。端末でアンケートに答え、心の天気を「雨」と記した生徒が、担任や他の教職員、養護教諭、SCのいずれかを選んで相談を行えるというものです。本校ではさらに休み明けの「心の健康調査」（夏）や本校独自の「いじめアンケート（年3回）」（冬）を行うことによって生徒の実態把握に努めております。

また、校長から各学年には以下のことを生徒に伝えました。

1年生は、生活を整えて、学習に向かうことができましたか。落ち着きが全ての源となるはずですが、冬休みには、楽しいことも多いのですが、学習に励んでください。

学ぶことが、これからの未来を開くことになります。頑張りましょう。

2年生は、職業体験学習もあり、充実したことと思います。生徒会活動や部活動は軌道に乗っていますか。自分たちが学校を創る意識を十分に発揮してください。

また、冬休みの学習は、今まで以上に力を入れてください。これからの学習が皆さんの1年後を開いていくことになります。頑張りましょう。

3年生は、三者懇談で進路を決定し、中には本番の試験を終えた人もいますね。そしてこれから勝負をかける人もいますね。試験を終えた人は、中学校から先の学習を、本番を迎える人は、今までで一番時間をかけてそれぞれ学習をしてください。1日の中で自分がどれくらい学習に時間をかけられるのか挑戦する良い機会です。友だちと切磋琢磨をして、学年が一つのチームとなり冬休みを過ごしてください。一番の踏ん張りどころです。頑張りましょう。

各学年に今言った「学習」は、言い換えるのであれば、「学ぶ」ということです。その学びで「今まで知らなかった」ことを、たくさん見つけてください。知らなかったことを知ることで、多様な見方が身につき、相手を思いやる心に繋がると考えます。具体的には単語一つの「言葉」といっても良いかもしれません。

さらに学校便りの巻頭言にある、霊長類学者山極壽一氏の文章を紹介しました。

昨日のHFDでは、第1回「柏陽講座」を行いました。アパレル業界で勤務されている本校PTA副会長 細田 誠 様に御来校いただき、21名の生徒を前に、御自身のお仕事の内容や、やりがいについてお話しいただきました。人との交流でとてもよい学びができました。

保護者、地域の皆様、どうか良いお年をお迎えください。



12月23日（月）「柏陽講座」細田 誠 PTA 副会長